

社会福祉センターは 社会福祉の総合施設です。

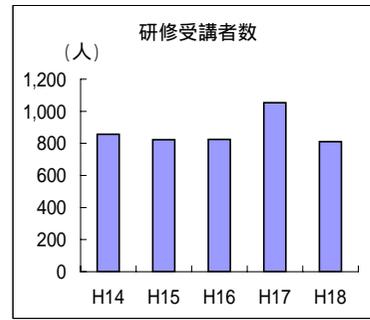
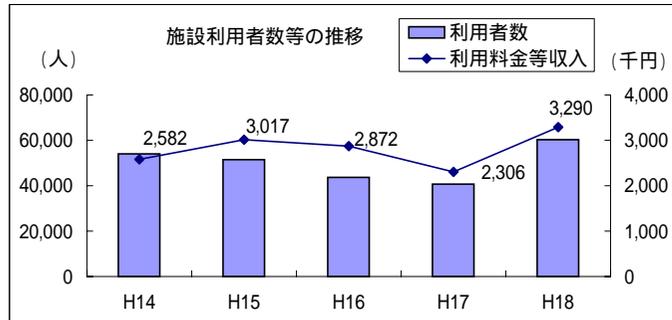
所在地	福井市光陽2丁目3-22		
設置年月日	昭和55年12月1日		
施設の種類	社会福祉施設	施設管理主体	指定管理者(福井県社会福祉協議会)
設置の目的	老人、身体障害者ならびに母子家庭の母および児童ならびに寡婦の利用に供し、または社会福祉に関する事務に従事する者の研修を行うことにより、社会福祉の向上を総合的かつ計画的に促進する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上4階、地下1階、延7,659㎡ 大会議室、機能訓練室、身障調理研修室、体育館、老人研修室、母子会議室		
職員数	指定管理者(正職員4人、非常勤嘱託1人 計5人)		

利用状況等

	H14	H15	H16	H17	H18
施設利用者数(人)	54,058	51,545	43,702	40,746	60,216
利用料金収入(千円)	2,582	3,017	2,872	2,306	3,290
研修受講者数(人)	856	822	825	1,054	810

利用者負担(利用料金)等

施設使用料(全日)	大会議室	8,100円
	身障調理研修室	13,500円
	体育館	15,000円



利用状況の推移	<p>施設利用者数は、平成15年度以降減少傾向が続いていましたが(特に、平成16年度は7月の福井豪雨の際に体育館が救援物資の収容施設として使用されたこと、平成17年度は豪雪による冬季期間の利用者が減少したことが主な要因)、平成18年度には、指定管理制度への移行に伴って新たな駐車場を確保する等利便性の向上に努めた結果、前年度に比べて47.8%、19,470人の大幅な増加となりました。</p> <p>研修受講者数は、平成14年度以降800人台で推移していましたが、平成17年度には定員の拡大により千人を超えました。しかし、少人数による質の高い研修を求める受講者からの要望を踏まえ、平成18年度に研修計画の見直しを行った結果、前年度比23.1%の減少となりました。</p>
---------	---

県民に対し、低廉な料金で会議室、訓練室、体育館等の施設を提供するとともに、社会福祉に関する各種相談に対応し、問題解決のための支援を行っています。

社会福祉に関する事務に従事する方を対象に、各種研修を実施し、その資質向上を図っています。

各種福祉関係団体が入居しており、社会福祉の拠点施設となっています。

<入居団体>
社会福祉法人福井県社会福祉協議会、福井障害者職業センター、社団法人福井県心身障害児者福祉団体連合会、社団法人福井県身体障害者福祉連合会、社会福祉法人福井県福祉事業団、社会福祉法人福祉県聴力障害者福祉協会、福井県知的発達障害者育成会、福井県セルブ振興センター、社会福祉法人福井県共同募金会、財団法人福井県老人クラブ連合会、福井県民間保育園連盟、福井県障害者スポーツ指導者協議会、財団法人福井県母子寡婦福祉連合会





18年度の特徴について

事業実績	<p>平成18年4月から、指定管理者に(社)福井県社会福祉協議会を指定し、新たな取組みを行っています。(管理委託期間 平成21年3月までの3年間、指定管理料総額149,517千円)</p> <p>施設の提供に当たっては、視覚障害者や聴覚障害者が申し込みをする際、代筆や筆談による対応を行うなど、施設の平等利用の確保に努めた他、駐車スペースの拡大により研修施設としての利便性が向上したことを関係機関に積極的にPRし、利用実績を大幅に伸ばすことができました。</p> <p>社会福祉研修の実施に当たっては、研修ニーズの的確な把握や質の高い講師の確保に努めるとともに、関係機関への研修計画の送付を2回に増やす等、きめの細かいサービス提供を行いました。</p> <p><H18実績> 研修コース数:16 参加者数:810人</p> <p>県民からの社会福祉に関する各種相談に対応しては、電話やFAX、インターネットによる受付を始める等、相談機会の拡大に努めました。</p> <p><H18実績> 老人に関する相談 889件 身体障害者に関する相談 382件 母子家庭および寡婦に関する相談 498件 その他 739件</p>
------	--

福井県社会福祉センター(2/2)

行政コスト計算書(平成18年度) (単位 千円)

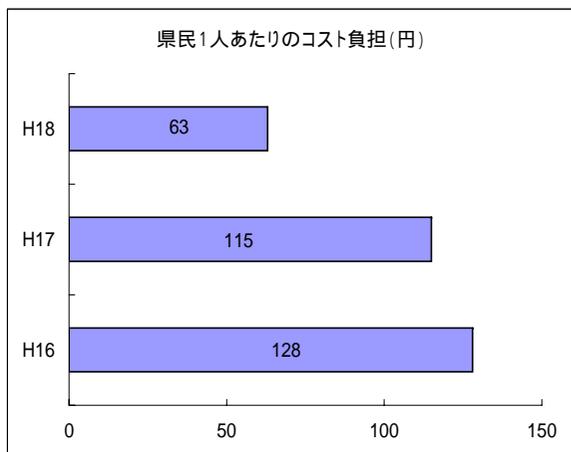
	総額	構成比	前年比	
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	-
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
物にかかるコスト	物件費	49,268	96.9%	91.7%
	維持補修費	1,575	3.1%	皆増
	減価償却費	0	0.0%	皆減
	計	50,843	100.0%	51.2%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	-
	その他	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
合計	50,843	100.0%	51.2%	
収入	利用料等収入	0	0.0%	皆減
	その他収入	0	0.0%	皆減
	一般財源	50,843	100.0%	51.2%

バランスシート(平成19年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産	前年比	負債	前年比
有形固定資産	0	固定負債	0
投資等	0	流動負債	0
流動資産	0	正味資産	0
計	0	計	0

主な指標 (単位: %, 円/人)

	H18	H17	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	0	0	-
県民1人あたり将来負担額	0	0	-
世代間負担率	-	-	-



バランスシート、行政コスト計算書の特色	<p>平成18年度から指定管理者制度を導入した結果、施設の利用料金等が指定管理者の収入となり、その収入分を差し引いて委託するため、物件費と利用料金等収入が前年比91.7%、皆減と大幅に減少しています。</p> <p>また、平成18年度は電気設備の修繕工事(1,575千円)を行ったことから維持補修費が増額しましたが、平成17年度で固定資産の減価償却(45,535千円)が終了したことにより、一般財源ベースでは、前年比48.8%、県民1人あたりコストでは45.2%減少しています。</p> <p>なお、バランスシートの対象となる資産は建物のみでしたが、施設整備から26年が経過し、減価償却が終了したことから、資産、負債とも計上がありません。</p>
施設の目的上、管理運営上、主な事業	<p>社会福祉研修事業の実施 福祉の職場で働く人や就職希望者を対象とした研修会を開催しています。</p> <p>相談業務の実施 老人や障害者、母子家庭、寡婦を対象とした苦情相談を行っています。</p> <p>児童生徒や民間企業の従業員をはじめ、広く一般県民を対象に社会福祉センターの機能や福祉についての説明、高齢者の疑似体験などの講座を開催しています。</p>
今後の課題	<p>社会福祉研修事業の実施に当たっては、研修ニーズや制度改正等を踏まえたタイムリーな内容とするともに、周知広報をより充実させることにより、参加者の増加を図る必要があります。</p> <p>当センターには、指定管理者である福井県社会福祉協議会が運営する福井県ボランティアセンターや福祉人材センターをはじめ、福祉に関する様々な団体が入居しています。本県における福祉の総合拠点として、当施設の周知広報や利用促進を働きかけるとともに、県民が利用しやすい雰囲気づくりが必要です。</p>
今後の事業方針取組み内容	<p>社会福祉研修事業の実施に当たっては、職種別の研修意向調査や受講者アンケートを行っています。今後とも、関係者の意向の把握に努め、よりニーズに即した研修の実現に努めます。</p> <p>また、研修計画の周知広報にあたっては、情報提供の回数を増やしたり、様々な広報手段を活用するなど、よりきめ細やかな対応に努めます。</p> <p>玄関およびロビーに入居団体パンフレットや施設周辺マップ、公共交通機関の時刻表を設置するなど、施設の利便性向上に努めます。</p>